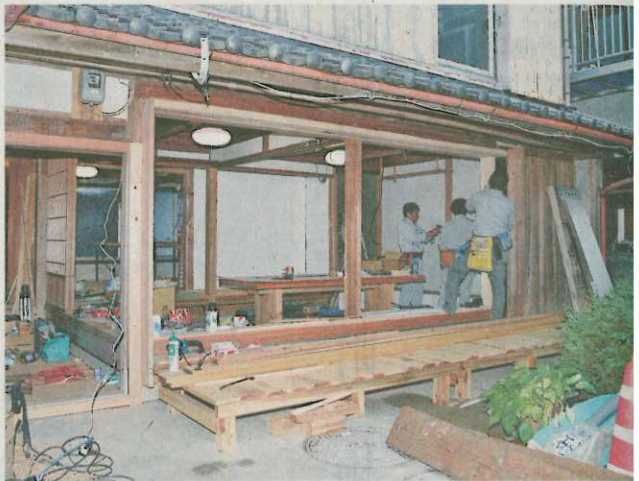


古民家改修 S O 体

美波町の地域活性化支援会社あわえは、同町日和佐浦にある古い木造の民家をサテライトオフィス(SO)体験施設に改修する。3月下旬から工事を進めており、6月下旬の利用開始を目指している。



あわえが整備を進めるSO体験施設「戎邸」
美波町日和佐浦

古民家がある「戎邸地区」にちなみ、「戎邸」と名付けた。空き家となっていた築70年以上の古民家(木造2階建て延べ約120平方メートル)を、あわえが購入した。

1階には、事務所として使用する板間のワンキングスペース(12平方メートル)、土間のリビング(18・8平方メートル)があり風呂や台所、トイレを備える。2階には8畳と6畳の

来月下旬の開所目指

を体験してもらうために、屋内外に縁側を設ける。

改修費用は約770万円。このうち約3分の2は、国土交通省と町の空き家再生等推進事業による補助金で賄う。

あわえの吉田基晴社長(43)は「美波町の魅力である豊かな自然や、住民との触れ合いを体感してもらい、より多くのSO進出につながりたい」と話している。(千里達彦)



打ち上げられた流木などを拾い集める参加者たち＝徳島市川内町の小松海岸

徳島市

外食チェーンのふじやグループ(徳島市)の社員や地域住民ら約千人が30日、川内町の小松海岸で美化活動に取り組んだ。4班に分かれ、砂浜に打ち上げられた流木や貝殻、空き缶などを拾い集め、約1時間の作業で大型トラック4台分のごみ

を回収した。友人と一緒に額の汗をぬぐいながら作業していた岸田亜弓さん(24)吉野川市鴨島町喜来、会社員は「夏に遊びに来る時、気持ちよく利用できそう」と話していた。

清掃活動は同グループの地域貢献活動の一環で、今年で4回目。(中野由梨)

美馬市・三好市

県西部県民局の職員が29日、昼休みを利用して、庁舎周辺で清掃活動をした。

美馬庁舎の職員63人は県道沿いの約1・5キロ間で側溝や植え込みにごみを拾い集めた。(尾形つぐみ)

各地で清掃活動

5月30日の「ごみゼロの日」にちなみ29、30の両日、県内各地で清掃活動が行われた。

小松島市

和田島小学校の児童246人が29日、同校

近くの大手海岸を清掃した。

海岸の東西2カ所に分かれ、教員や保護者



砂浜に埋まった袋を回収する和田島小児童たち＝小松島市和田島町の大手海岸

50人と一緒にごみを拾った。ペットボトルや空き瓶、プラスチックの破片などを丹念に集めた。砂浜に埋まったビニール袋も掘り出していた。30分間で、約1トのごみが集まった。

清掃活動は毎年の恒例行事で、6年の森陽乃さん(11)は「ごみは去年より少なかった。このままきれいな海岸になってほしい」と話した。(城福章裕)

美波町



海岸のごみを拾い集める児童ら＝美波町日和佐浦の大海海岸

日和佐小学校と日和佐中学校の児童生徒ら約270人が29日、日和佐浦の大海海岸で、流木などの漂着ごみを拾う活動を行った。

児童らは12班に分かれて、南北500メートルの海岸にある流木や空き缶、プラスチック製の容器などを拾い集めた。約1時間の作業で、45袋のごみ袋26個を回収した。

日和佐中3年の前山直人君(14)は「ごみを拾って、これからもきれいな海岸を保ちたい」と話していた。

清掃活動は徳島海上保安部美波分室の呼び掛けで毎年行っている。(千里達彦)